

IPv6無線LANラジオ・マルチユースシステム

【本システムの概要】

イベントやセミナーで使われる同時通訳システムで流れてくる音声を、同時に多量な参加者が無線LANを活用したラジオで聞くことができます。また端末内にリアルタイムにデータとして蓄積でき、イベント終了後にその内容を聞くことができるシステムです。

さらに、同通された音声を元に、テキストデータを生成。これにより、メールやWeb等での利活用も容易になり、素材のマルチユースが可能となります。IPv6を使用することで、数万人規模のイベント会場でも、アドレスの不足が起きず、安定した運用が可能です。

1. 数万人が様々な言語で同時に使用可能
2. ボイスデータを、リアルタイムに聞けるだけでなく、蓄積しておいて後から聞くことも可能
3. テキストデータの保存・利活用が可能

無線LANラジオ・マルチユースシステム システム概要図

